

令和2年10月29日

保護者 各位

上市町教育委員会

気の緩みやよくなる場面に注意を（Ⅱ-第19報）

国内の感染者数は、増加の兆しが見え始め、地域によっては、感染拡大になったところもあるようです。

気温が下がり寒くなると、ウイルスにとっては活動しやすくなるため、冬に感染が拡がりやすくなることが考えられます。こうしたときこそ、一人ひとりの行動が再拡大を防ぐ鍵を握ることになります。

これまでの集団感染の発生事例について、聞き取り調査が行われ、その結果として、気が緩みやすい場で発生しやすいことがわかりました。その気が緩みやすい場の例として、飲酒を伴う会食、休憩室、更衣室などがあり、特にマスクをはずしての会話をする喫煙室も盲点となるということのようです。

これまで、一人ひとりが、感染防止の対策をとり続けてきたことで、幸いにも、この地域での集団感染は発生していません。

これからは、年末年始の人の移動が盛んになり、何人かでの会食など、気持ちが緩みやすい場もあり、十分に感染のリスクが考えられるところです。特に飲酒の伴う場合は、気持ちが大きくなり、思わず飛沫による感染が高まることになります。

人は危機感が薄れると、行動のチェックも少しルーズになり、それだけウイルスに隙を与えることになります。

特に寒くなると、部屋に閉じこもることや、年末年始などで人との懇親の機会が増えることが考えられますので、くれぐれも気持ちの緩みがないようにしたいものです。